

(令和元年5月試験研究業務月報)

試験研究課題：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

情 報

## ウメ輪紋病の現地発生調査

ウメ輪紋病はプラムポックスウイルス（PPV）によりウメ、モモ、スモモの葉に斑点や輪紋が生じ、果実にも斑点被害が心配されるウイルス病です。平成21年に国内で初めて発生が確認されて以降、近畿地方でも府外の一部地域で発生が確認され、発生地域の拡大が心配されています。

そこで当センターでは、府内で本病が発生していないかを調べるため、症状を確認しやすい5月に毎年、ウメ及びモモの現地生産園で葉及び果実の見取り調査を行っています。その結果、本年度も発病症状を認めませんでした。

今後も、府内のウメ及びモモ園で被害が蔓延しないよう現地発生調査を続けます。



ウメでの見取り調査



ウメでの葉の輪紋症状

植物防疫所原図